

# 福祉サービス第三者評価 評価結果

## 横浜市北上飯田保育園

横浜市泉区北上飯田町 3050 番地 3

運営主体：横浜市

|                   |           |
|-------------------|-----------|
| 実施概要              | 1～2 ページ   |
| 総合評価（評価結果についての講評） | 3～5 ページ   |
| 評価領域ごとの特記事項       | 6～7 ページ   |
| 分類別評価結果           | 8～18 ページ  |
| 利用者家族アンケート分析・集計結果 | 19～25 ページ |
| 利用者本人調査分析         | 26～28 ページ |
| 事業者コメント           | 29 ページ    |

2008 年 3 月 11 日公表

実施機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

## 実施概要

|        |                      |               |
|--------|----------------------|---------------|
| 事業所名   | 横浜市北上飯田保育園           |               |
| 報告書作成日 | 2008年3月3日            | 評価に要した期間 7ヶ月間 |
| 評価機関   | 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま |               |

## 評価方法

|  |   |
|--|---|
| <p>1、自己評価</p> <p>実施期間:07年7月～07年11月28日</p>                  | <p>職員会議で趣旨を説明し、常勤・非常勤すべての職員が期日までに各自で自己評価を記入し、園長に提出した。全職員から集めた自己評価をまとめ、全職員による会議で1項目ずつ話し合い、確認した。全員の参加が難しいときもあったので、事前にアルバイト職員から意見を聞いておき、会議で意見を反映させた。</p> <p>さらに、会議での話し合いの結果をまとめ、各クラスで回覧・意見交換を行った。</p>  |
| <p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間:07年11月5日～07年11月14日</p>       | <p>外国につながる保護者が多いため、評価機関において、必要に応じてアンケート調査票の翻訳を行い、計8言語のアンケート用紙を作成した。</p> <p>保育園から全園児の保護者に、それぞれに適した言語のアンケート用紙を直接配付（手渡し）し、回答を依頼した。各保護者より、専用の封筒を使って一度園に提出してもらい、それを評価機関が回収した。</p> <p>各言語で回答された意見・コメントは、評価機関において日本語に翻訳した。</p>                         |
| <p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日:第1日 07年12月18日<br/>第2日 07年12月20日</p> | <p>[第1日]</p> <p>午前：各クラスで保育観察。<br/>昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。<br/>午後：書類調査及び園長・主任に面接調査。</p> <p>[第2日]</p> <p>午前：各クラスで保育観察。福祉員1名に面接調査。<br/>昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。<br/>午後：各クラス担任保育士5名、調理員1名、アルバイト保育士1名に個別に面接調査。その後、園長・主任に面接調査。最後に意見交換を行い、終了。</p> |

|   |  |
|---|--|
| <p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日：第1日 07年12月18日<br/>第2日 07年12月20日</p> | <p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施。園外での活動にも同行した。</p> <p>聞き取り調査は、5歳児以上の園児を中心に、観察調査や昼食で子どもと同席した際に、会話の中で適宜実施した。</p> |
|---|--|

## 総合評価（評価結果についての講評）

### 【施設の概要】

横浜市北飯田保育園は、相鉄いずみ野線「いずみ野」駅または「いずみ中央」駅からバスで約10分、台村停留所近くの住宅地にあり、「県営いちょう団地」に隣接しています。

当園は1976年（昭和51年）12月、横浜市により開設されました。定員は72名（6ヶ月～5歳児）、平日の開園時間は7時30分から18時30分です。園舎は鉄筋コンクリート2階建てで、2階には広いベランダがあります。当初は定員100名で発足したので、現在の定員では、各保育室とも子ども一人当たりの面積は基準よりもやや広がっています。

保育理念として、「北上飯田保育園を利用するすべての乳幼児の最善の利益を保証する児童福祉施設である」を掲げ、保育方針を「子どもが、現在を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う」と定めています。保育理念・方針に基づき、保育目標は、「安心して園生活を楽しむ」「たくましく生きる力を身につける」「自分で考え、感じたことを表現する」の3つを掲げています。

### 高く評価できる点

#### 1、外国へつながる家庭の支援に力を入れています

父や母が外国につながる子どもが園児の約85%を占めていて、ベトナム・中国・カンボジア・バングラディシュ等10ヶ国近くにおよびます（2007年12月現在）。子どもたちは成長とともに日本語を使えるようになるので、保育士等とのコミュニケーションにはほとんど不都合はありませんが、保護者は日本語をうまく使えなかったり理解が十分にはできなかったりするので、園は保護者との意思疎通を十分に行うために、さまざまな工夫をしています。

例えば、園内の掲示・入園のしおり・「えんだより」・園からのお知らせ等は、日本語・ベトナム語・中国語・英語の4つの言語を使い、言語別の入園説明会や懇談会等を行っています。また、日本語を読むことが困難な保護者が多いために、その日の園での子どもの様子は、連絡帳を使わず口頭で伝えていますが、ベトナム語・中国語の通訳がそれぞれ週1回来園し、また「保育サポーター（通訳を兼ねたボランティア。各国語で計20人程度が登録している）」が夕方の迎え時に居るようにする等の工夫により、保護者との十分なコミュニケーションがとれるようにしています。

保護者からの相談は、育児に関する相談よりも、保護者自身が日本で生活をする上で困っていること、悩んでいること等の相談が多く、園長・主任をはじめ全職員が丁寧に対応しています。

園として、保護者への対応マニュアルを定めていて、職員は、園内研修でいくつかの国の文化・伝統・習慣等を学んでいるほか、自主的に語学教室に参加している職員もいます。

このように、園全体が一丸となって外国へつながる家庭の支援をしています。

#### 2、子どもたちは思いっきり遊ぶとともに、さまざまなことを学んでいます

子どもたちは、園庭や散歩先の公園等で、思いっきり身体を使って遊びこんでいます。ドッジボール・サッカー・ボール投げに興じたり、ジャングルジムや滑り台で遊んだり、砂山の砂でさまざまな形を作ったり、自分が好きなことをして楽しんでいます。保育士は危険のないように見守っていますが、ドッジボールなどのルールが分らない子には教えたり、離れている子どもにそっと誘いかけたり、自分も一緒に子どもたちの仲間に入ったりしています。また、幼児クラスは、週1回のリズム遊びの時間があり、ピアノの音楽に合わせて、身体を使って思い思いの表現をしています。

散歩のときは、草花や虫の名前を子どもたち同士で言い合ったり、保育士から教えてもらったりしています。また、近所の人に会うと大きな声であいさつをし、道路を横切るときは、左右に注意し手を挙げて渡ります。

食に関しては、園の畑で子どもたちが野菜を育て、採れた野菜を調理してもらったり、食事の前に、当番の子どもが食育ボードを使って、献立の中の食材が「ちやにくになる」「ちょうしをととのえる」「ねつやちからになる」のどれになるかをみんなで当てっこしたり、食への関心を高めるようにしています。

また子どもたちは、よく噛んで食べること、着替えたもの等はきちんとたたむこと、脱いだ履物はそろえること等を日々学んでいます。

保育士は、子どもたちが日本の社会の中で安心して過ごしていけるように、日本の生活習慣・文化・語彙（言葉）などをできるだけ伝えようと、さまざまな場面で、子どもたちが理解できるようにやさしく話しかけています。食事のときなどに、かむ習慣がないためすべて丸のみにしてしまい、食事があまり進まない子どもがいます。きちんとかんで食べる習慣を身につけさせたいという保育士の思いもあり、急かしたり、ややきつい口調となったりする場面も一部見受けられましたが、保育士と子どもたちの間には信頼関係が築かれていて、子どもたちはとても素直に応え、多くのことを学び、吸収しています。

### 3、地域との連携を重視しています

地域子育て支援として、園庭開放・交流保育・育児相談・育児講座等を行っています。

また、ボランティア団体・泉区と協力して、毎週1回「子育てサロン」を園で開催しています。毎回、日本人・外国につながる親子あわせて10組前後の親子が参加し、子どもたちを遊ばせる場となるとともに、子育て相談や親たちの交流の場となっています。同時に、ボランティア団体により日本語教室が開催され、子どもが遊んでいる間に、親が日本語を習うことができるような工夫もしています。

さらに、子ども家庭支援地域連絡会（いちよう団地地区）・いずみ多文化ネットワーク運営委員会（ボランティア団体、自治会、学校、泉区役所等により月1回開催）・多文化共生まちづくり懇談会（上記運営委員会に住民が加わり年4回実施）等の地域のネットワークに、園長をはじめ職員も参加しています。地域で支えあい一体になりながら、地域のニーズに応じた子育て支援となるように活動しています。

#### 独自に取り組んでいる点

##### 園内研修が充実しています

職員は、必要に応じ内外の研修に参加していますが、特に園内研修ではユニークな取り組みをしています。例えば、カリキュラム会議で、「保育のエピソード」として、各クラス担任が交代で、自分のクラスの実践報告をし、他の保育士からの意見や気づいた点を聞いて、その後の日々の保育に活かしています。また、福祉員（朝夕の時間の保育を担当する非常勤職員）に「自分の子どもを預けたい保育園」という課題を出し、各自の提出したものをもとに、園長と福祉員全員が集まり、特に保護者との対応で気をつけるべきこと等を話し合っています。

さらに最近、クラスでの保育の実践現場に、他クラスの保育士等が参加し、良い点・工夫を要する点等を見つけて書面で提出し、お互いの気づきの材料とする研修を始めています。このような取り組みを続けることにより、子ども一人ひとりが主体となることを心がけた保育になることが期待できます。

#### 改善や工夫が望まれる点

##### 1、一人ひとりの子どもに、より配慮した保育

園は、「子どもたちが日本の社会の中で安心して過ごして欲しい」と、みんなと一緒に充実した楽しい日々を過ごせるように考え、まず、基本的な生活習慣を身につけてもらうことを重点にしています。保育士た

ちは精一杯努力していますが、さまざまな国や地域の生活習慣を持つ保護者と十分なコミュニケーションをとり、一人ひとりの子どもに適したきめ細かい指導をするには、現状の限られた少ない人数では限度があると考えられます。

市や区の十分な理解と支援を受けることにより、保育士増を図る等で、一人ひとりの子どもに配慮した保育となることが期待されます。

## 2、多文化をさらに理解できる保育

子どもたちは、“みんな一緒”ということで、幼児クラスでは、朝の集まりのときやさまざまな場面で、ひとつの歌を4つの言語で歌う等、ごく自然にお互いを受け入れています。一方、それぞれの国や地域には独自の文化・伝統・習慣等があり、それを理解し認め合う心を育てることも大切です。そのために例えば、保育参観日やお楽しみ会のときに、保護者から、それぞれの国や地域の話や遊びを子どもたちに紹介する機会を設ける等の工夫が望まれます。

## 評価領域ごとの特記事項

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って、記載しています。

### 1、人権の尊重

- ◇ 保育理念は、「北上飯田保育園を利用するすべての乳幼児の最善の利益を保障する児童福祉施設である」であり、利用者本人を尊重したものとなっています。
- ◇ 父や母が外国につながる子どもが園児の約 85%を占めていて、職員は、それらの国や地域の文化・伝統・習慣等を尊重しています。
- ◇ 子どもたちは、成長とともに日本語を使えるようになるので、保育士等とのコミュニケーションにはほとんど不都合はありませんが、細かな意思の疎通ができるように、保育士はゆっくりと話を聞いたり、同じ言語を話せる子どもの手助けを得たりして、子どもの意思や意見を汲み取るようにしています。
- ◇ 個人情報の取り扱いについてのマニュアルがあり、個人情報が含まれる書類は、施錠できる書架に保管しています。

### 2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ◇ 園の屋内・外とも、常に清潔に保たれていて、どの保育室も園庭に面し、陽光を十分に取り入れています。
- ◇ 子どもたちが好きなことをして十分に遊びこむ時間が確保されています。
- ◇ 園の畑で野菜を子どもたちが栽培し、採れた野菜を調理してもらったり、食事の前に食材の種類を子どもたちが当てっこしたり、食への関心を高めています。
- ◇ 保育士は、子どもたちが、基本的な生活習慣を身につけるように指導しています。
- ◇ 保護者からの、日本で生活する上で困っていること、悩んでいること等の相談にも園長・主任をはじめ全職員が丁寧に対応し、外国へつながる家庭の支援をしています。
- ◇ 市や区の十分な理解と支援を受けることにより、保育士増を図る等で、一人ひとりの子どもに配慮した保育となることが期待されます。
- ◇ 子どもたちは、4つの言語で歌を歌う等、文化の違いをごく自然に受け入れています。さらに例えば、保育参観日やお楽しみ会のときに、保護者から、それぞれの国や地域の話や遊びを子どもたちに紹介する機会を設ける等の工夫が望まれます。

### 3、サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 保育計画は、外国につながる子どもたちが約 85%を占めること、県営団地に隣接していること、周囲の環境等を考慮して作成しています。
- ◇ 子どもの発達や状況に応じて、月間指導計画等の作成・評価・見直しをしています。
- ◇ 0～2歳児の全員に個別指導計画を作成しています。3～5歳児でも特別な課題のある子どもに対し、個別指導計画を作成しています。
- ◇ 苦情解決マニュアルを制定し、保護者には苦情解決制度について、入園説明会で必ず伝えていきます。
- ◇ 健康管理・感染症対策・衛生管理・安全管理マニュアルがあります。
- ◇ 外国につながる保護者に向けて、園内の掲示・入園のしおり・「えんだより」・園からのお知らせ等は、日本語・ベトナム語・中国語・英語の4つの言語を使い、言語別の入園説明会や懇談会を行っています。また、通訳や保育サポーター（通訳を兼ねたボランティア。各国語で計20人程度が登録しています）を配置し、保護者との十分なコミュニケーションがとれるようにしています。

### 4、地域との交流・連携

- ◇ 園庭開放・交流保育・育児相談・育児講座を行っています。

- ◇ 毎週 1 回、「子育てサロン」を開催しているほか、子ども家庭地域連絡会・多文化ネットワーク運営委員会・多文化共生まちづくり懇談会等の地域のネットワークに、園長や職員が参加し、地域との連携を重視しています。
- ◇ ボランティア受け入れ・実習生受け入れのマニュアルを制定しています。
- ◇ 保育サポーター連絡会を隔月に行い、意見や感想を聞いて、園運営の参考にしています。

#### 5、運営上の透明性の確保と継続性

- ◇ 「全国保育士会倫理要綱」を保育士は周知しています。
- ◇ ISO14001 の認証を取得していて、横浜市の方針に準じて環境配慮に取り組んでいます。
- ◇ 保育理念・保育方針等を園内に掲示するとともに、職員にはプリントを配布しています。
- ◇ 主任は、個々の職員の経験年数等に応じ、的確な助言や指導を行なっています。

#### 6、職員の資質向上の促進

- ◇ 年度初めに園長と個々の職員が面談をし、年間目標を設定し、年度末に達成度の評価をしています。
- ◇ 内部研修や横浜市・泉区が行う研修等に、職員・非常勤職員とも必要な職員が参加しています。
- ◇ カリキュラム会議で「保育のエピソード」として、各担任が交代で、自分のクラスの実践報告をし、他の保育士からの意見や気づいた点を聞き、日々の保育に活かしています。
- ◇ 福祉員に「自分の子どもを預けたい保育園」という課題について書いてもらい、それをもとに園長と福祉員全員が集まり、話し合っています。
- ◇ クラスでの保育の実践現場に、他クラスの保育士等が参加し、良い点・工夫を要する点を見つけて書面で提出し、お互いの気づきの材料とする研修を 2007 年度から始めています。



## 分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。








「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。


3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1~6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。


### 評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

| 評価分類   | 評価の理由(コメント)   |
|--|---|
| <p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育理念や方針は、職員会議等で議論し定めています。保育理念は、「北上飯田保育園を利用するすべての乳幼児の最善の利益を保障する児童福祉施設である」とし、理念に基づき、保育方針を「子どもが、現在を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う」と定め、利用者本人を尊重したものとなっています。</li> <li>・ 保育目標は、「安心して園生活を楽しむ」「たくましく生きる力を身につける」「自分で考え、感じたことを表現する」としています。</li> <li>・ 保育計画は、父や母が外国につながる子どもたちが園児の約85%を占める実状や、県営団地に隣接していること、周囲の環境等を考慮して作成しています。</li> <li>・ 保育士は、日常の保育を通して子どもたちの意見や意思を汲み取るようにしていて、日本語では、細かな意思の疎通ができない子どもの場合には、同じ言語を話せる子どもに手助けをしてもらうこともあります。</li> <li>・ 子どもの自主性や主体性を育て、発揮できるような指導計画となっています。また、子どもたちの様子に気になる点が見られたときは、保育士は他の職員や園長に相談し、計画を柔軟に見直しています。</li> </ul> |
| <p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4つの言語別（日本語・ベトナム語・中国語・英語）に、入園説明会を行っています。その後の保護者との面接は、通訳をつけ、十分に意思の疎通を図るようにしています。</li> <li>・ 面接時に把握した事項は、日々の保育に活かしています。担任以外にも知っていてほしい特別の事情等がある子どもに関しては、職員会議等で報告し、全職員が情報を共有するようにしています。</li> <li>・ 日本語の文章を読むことが困難な保護者が多いので、連絡帳は使用していません。迎え時に、一日の園での子どもの様子を口頭で伝え、時には、通訳や保育サポーター（通訳を兼ねたボランティア。各国語で計20人程度が登録している）を介して伝えてもらっています。また、その日の遊びの様子を写真に撮って掲示をしたり、4つの言語で簡単な説明をつけた絵カードで、その日に何をやったかを伝えたりしています。</li> </ul>  |

|  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達や状況に応じて、月間指導計画等の作成・評価・見直しをしています。</li> <li>・保護者アンケート・個人面談や日々の連絡・会話等から、保護者の意向を汲み取り、指導計画に反映させています。</li> </ul>   |
| <p>- 3 快適な施設環境の確保</p>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園の屋内・外とも、常に清潔に保たれています。</li> <li>・どの保育室も園庭に面していて、陽光を十分に取り入れています。夏季には2階のベランダや園庭に遮光ネットを張り、紫外線を防止しています。また、子どもたちが屋外に出るときは、後ろにたれのついた帽子（園で購入）をかぶるようにし、首筋に紫外線が当たらないようにしています</li> <li>・0歳児保育室には、沐浴設備があります。</li> <li>・温水シャワー設備は、1階、2階及び園庭にそれぞれ設置されています。</li> <li>・夏季は、テラスにゴザ、たらい、ホース等を用意し、汗をかいたとき等に身体の清潔を保てるようにしています。</li> <li>・乳児でオムツかぶれがひどい子どもなどには、個別に対応し、こまめにシャワー浴をしています。</li> <li>・各保育室とも、内部を背の低いロッカーや戸棚で仕切り、食事と午睡の場所を分けています。</li> <li>・1階の玄関ホールや2階の廊下等に絵本コーナーを設け、異年齢児間の交流の場としています。</li> </ul> |
| <p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・0～2歳児には、個別指導計画を作成しています。</li> <li>・3～5歳児でも特別な課題のある子どもには、個別指導計画を作成しています。</li> <li>・個別の月間指導計画は、子どもの発達状況に合わせ、柔軟に変更・見直しを行っています。</li> <li>・1歳児でも低月齢の子どもは0歳児クラスに編入する等、子どもの状況に応じて柔軟に対応しています。</li> <li>・子どもや家庭の個別の状況は、保護者に、児童票に記入してもらっています。日本語で記入が困難な保護者に対しては、園側で聞き取りを行い、記入しています。</li> <li>・入園後の子どもの成長や発達の記録は、経過記録に記載しています。</li> </ul>  |
| <p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に配慮が必要な子どもについて、職員会議・カリキュラム会議等で話し合い、議事録に記載しています。会議に参加しなかった職員は、議事録により内容を確認しています。</li> <li>・障がい児保育について、職員がさまざまな研修に参加し、研修報告を行うことで、全職員が学習できるようにしています。( )</li> <li>・アレルギー疾患のある子どもについては、かかりつけ医の指示を受け、適切に対応しています。</li> <li>・食物アレルギーのある子どもの保護者とは、連携を密にしています。</li> <li>・代替食・除去食を提供するときは、食材を変えなくてはいけない場合にも、見た目は他の子どものもものなるべく変わらないように調理員が工夫しています。</li> <li>・調理員が、毎月、アレルギー対応食や宗教上の理由による除去食の</li> </ul>   |

|   |   |
|---|---|
|   | <p>カレンダーをつくり、全職員に周知徹底を図っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 父や母が外国につながる子どもが園児の約 85%を占めています。</li> <li>・ 職員は、各国の文化（言語・表現・食事）や、生活習慣、考え方の違いを認め、子どもたちに接しています。一方、子どもたちが日本で生活する上で困らないように、日々の保育を心がけていて、保護者には自国の文化・生活習慣との違いを理解してもらうようにしています。</li> <li>・ 子どもたちには、各国のあいさつ・数の数え方や歌等を教え、いろいろな言葉があることを知らせています。</li> <li>・ 職員は、園内研修で各国の文化や習慣を学び、その国について理解を深める努力をしています。また、自主的に中国語やベトナム語等の語学勉強会に参加している職員もいます。</li> </ul> <p>当評価機関では、「障害」を「障がい」と表記します。</p> |
| <p>- 6 苦情解決体制</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苦情解決制度と第三者委員については、必ず入園説明会で説明しているほか、第三者委員の連絡先も含め、4つの言語で園内に掲示しています。</li> <li>・ 意見箱を事務室の前に設置しています。また、2006年度に保護者にアンケートを実施し、2007年度の計画を立てるときの参考にしています。</li> <li>・ 日本語では自分の意見を十分に言えない子どもに対しては、保育士は、その子どもの母語が分かる子どもに通訳をしてもらい、意思を確認しています。</li> <li>・ 保護者に対しては、必要に応じて通訳や保育サポーターに間に入ってもらい、要望や意見を聞くようにしています。</li> <li>・ 要望や苦情があったときは、ミーティングや会議を開き、職員間で共通理解をし、対応するようにしています。</li> </ul>                                      |

## 評価領域 サービスの実施内容

| 評価分類  | 評価の理由（コメント）  |
|---|--|
| <p>- 1 保育内容[遊び]</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育室はままごとコーナー、絵本コーナーなどに分かれていて、落ち着いて遊びこめるようになっています。また、園庭にテーブルやいすを設置し、走り回る子どもたちとは別の場所でゆっくりと遊べるようにしています。</li> <li>・ 2,3人のボール遊びをしていた子どもたちからあがった声で、自由遊びの時間をクラス全体のドッジボールに切り替えるなど、子どもの声を受け止め、それを集団遊びに取り入れています。</li> <li>・ 砂遊び、ままごとなどの遊びのときに、保育士が声かけをしたり、道具を足したりして遊びが広がるように援助しています。</li> <li>・ 園の畑で収穫した野菜を、子どもたちが洗って葉をとった後、調理してもらい食べたり、絵に描いたり、単に栽培するだけでなく、食育や制作活動につなげています。</li> <li>・ 園庭の外を通りかかった人や、散歩で会った地域の人たちと、子どもたちは元気にあいさつを交わしています。</li> <li>・ 3,4,5歳児は週1回リズム遊びを行っています。</li> <li>・ 日常の簡単な会話は困らなくても、自分の考えや思いを詳しく言うことが難しい子どもが多いため、保育士は、何を伝えたいかをゆっくり話させるように心がけています。また、ボランティアによる「お話の会」を2ヶ月に1回行い、子どもたちが日本語の語彙を増やすための機会としています。</li> <li>・ 子どもたちは、1つの歌を4つの言語で歌い、さまざまな言語があることを学んでいます。</li> <li>・ けんかするとき、保育士は、できるだけ子ども同士で解決ができるように見守っています。仲立ちをするときは、両方の意見を平等にじっくりと聞いています。</li> <li>・ 3,4,5歳児は月1,2回、縦割りで活動する機会があります。また、散歩やリズム遊び等の日常の保育の中でも、異年齢交流の機会を設けています。</li> <li>・ 天気がよいときは、園庭での遊びや散歩を積極的に取り入れています。子どもたちは、サッカー、ドッジボール、かけっこ、鬼ごっこなど、身体を動かす遊びをたくさんしています。</li> </ul> |

## - 1 保育内容[生活]






- ・ミルクや離乳食を与えるときの子どもに対する担当者を決め、子どものペースに合わせて与えています。母国の生活習慣等の理由で、かむ習慣が十分にできていない乳児が入園してきた場合には、その状況にあわせて段階を戻して離乳食のやり直しを行っています。
- ・子どもたちが、とうもろこし・枝豆・そら豆などの皮むきやさやとりをしたり、畑のジャガイモやニンジン収穫したりして、食への興味を持つようにしています。
- ・子どもの食欲をそそるため、野菜を型抜きしたり、ケチャップや粉砂糖で絵を描いたり、盛り付けを工夫しています。また、4月は寒天よせ、夏は冷たいものにするなどして口当たりがよいよう工夫しています。食材も入園当初の4月は小さく、細かく、やわらかく加工し、徐々に給食に慣れるように、年齢や子どもの状況に応じて対応しています。
- ・調理員が毎日各クラスを回り、子どもたちの食事の様子を見たり、意見を聞いたりして、次の工夫につなげています。
- ・日本語、中国語、英語の献立表を作成しています。ベトナム語の献立表は近々できる予定です。
- ・4つの言語で離乳食の各段階を説明した離乳食ボードを廊下に設置し、保護者に離乳食についての理解を働きかけています。
- ・保育士は、子どもたちが自分から食べようとする意欲を大切にしています。「食べようね」「かもうね」「早く食べようね」と適切な励ましの声かけをしています。
- ・かむ習慣がなく、すべて丸のみにしてしまい、食事があまり進まない子どもがいます。保育士は、きちんとかんで食べる習慣を身につけさせたいという思いから、急かしたり、ややきつい口調になったりする場面が一部見受けられました。
- ・眠れない子どもが安定するように、衝立でスペースを区切るなどしています。また、途中で起きた子どもは無理に寝かさず、静かに過ごさせています。
- ・トイレトレーニングについては、保護者と密に連絡を取り合い対応しています。
- ・子どもたちは、トイレを使用後、サンダルをきちんとそろえています。

## - 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- ・昨年度園内研修で、みんなで話し合い、健康管理マニュアルを作成しました。本年度は1年間の反省会でマニュアルの見直しを行う予定です。
- ・園での子どもの健康状態については、必要に応じて、保護者が迎えに来たときに口頭で伝えています。
- ・毎月の身長・体重、春・夏の健康診断、歯科健診の結果は健康カードに記載し、結果をその都度保護者に見せ、サインをもらっています。
- ・感染症が発生したときは日本語、ベトナム語、中国語、英語の4つの言語で掲示しています。また、保護者には文字情報だけでなく、必ず口頭で伝え注意を促しています。



|  |   |
|--|---|
| <p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルを整備し、全職員に周知しています。</li> <li>・マニュアルに基づいて清掃を行っています。</li> </ul>  |
| <p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全管理についてのマニュアルを整備し、全職員に周知しています。また、火災、地震を想定した避難訓練を定期的に行っています。</li> <li>・2006年度に、全正規職員とアルバイト職員の希望者が他の保育園と合同で、消防署による救急救命法とAEDの取り扱いの研修を受講しました。</li> <li>・子どものけがなどは、軽傷であっても必ず保護者に伝えていきます。また、職員間の引き継ぎノートに記載しています。</li> <li>・電子錠で玄関や園庭の門を施錠し、不審者侵入がないようにしています。</li> <li>・泉区の学校警察連絡協議会に加入していて、緊急事態が発生した場合、近隣の小学校、中学校からFAXで情報が入るなど、連携する体制ができています。</li> </ul>   |
| <p>- 3 人権の尊重</p>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに対して威圧的な話し方や無視が行われないように、職員会議や園内研修で、繰り返し話し合っています。</li> <li>・保育士は、子どもの気持ちを尊重し、子どもの話をじっくりと聞くように心がけています。</li> <li>・ついたてで仕切られた子どもが一人で過ごせるスペースがあります。また、特別室や事務室で、保育士と子どもが対面で話し合うことができます。</li> <li>・守秘義務の意義や目的、個人情報の取り扱いについてのマニュアルがあり、全職員に周知しています。</li> <li>・個人情報が含まれる記録は、事務室の施錠できるロッカーに保管しています。事務室から持ち出すときには持ち出し簿に記録し、返却を確認しています。</li> <li>・虐待については、保育士は子どもに着替えをさせるときなどに全身を注意深くチェックし、気になることがあるときは園長に連絡しています。</li> <li>・整列のときの並び方、遊び、色分けなどで男女による区別はしていません。</li> <li>・保育士は、子どもたちが理解できるように、ゆっくりはっきりと話すように心がけていますが、行動開始の準備をする際などに、急かしたり、やや大きな声になったりする場面が、一部見受けられました。</li> </ul> |

#### - 4 保護者との交流・連携






- ・ 外国につながる保護者への対応について、マニュアルを策定しています。コミュニケーションのとり方や生活習慣等について記載していて、「文化の押し付けや同化ではなく、信頼される仲間を目指す」とあります。
- ・ 年度初めの言語別懇談会(国別懇談会)で保育目標を話すとともに、毎月の4つの言語による「えんだより」に、クラスの月のねらいを載せています。
- ・ 送迎時に、その日の子どもの様子を必ず伝えていきます。お迎えのときには毎日、どれかの言語に対応する通訳か保育サポーターが交代している体制ができていて、日本語では意思の疎通が難しい保護者に対応しています。
- ・ 日本語が読めない保護者が多いため、連絡帳を用いていません。現在、言語別に簡単な連絡票(食事量・排泄・睡眠時間などを や数字で記入)を作る準備を進めています。
- ・ 育児相談だけでなく、保護者の生活上の相談にも快くのっています。受けた相談は、内容によっては区役所や関係機関に連絡するなどフォローしています。今後は、相談内容とその対応についての記録をとることが望まれます。
- ・ 年1回、保育参観、保育参加(親子で遊ぼう)をそれぞれ行っています。また朝、親と離れたがらなかったり、食事の問題があったりして、親が子どもの園生活に不安があるときには、保育を参観するよう随時声かけをしています。
- ・ 外国につながる保護者が大多数を占めるようになったため、父母の会は2005年度以降、活動を停止していますが、保護者からの声があれば、園はいつでも支援する用意があります。

評価領域 地域支援機能




| 評価分類  | 評価の理由（コメント）   |
|---|---|
| <p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども家庭支援地域連絡会（いちょう団地地区）、いずみ多文化ネットワーク運営委員会（ボランティア団体、自治会、学校、泉区役所等により毎月1回開催）、多文化共生まちづくり懇談会（上記運営委員会に住民が加わり年4回実施）等の地域のネットワークに参加しています。これらの活動を通じて、地域の子育てニーズを把握しています。</li> <li>・ 毎週、月曜から金曜の午前中に園庭開放を行っているほか、7月に交流保育を実施しています。</li> <li>・ 園、ボランティア団体、区役所の共催で、「子育てサロン」を毎週水曜日に特別室で開催しています。月の当番の保育士が遊びを企画するとともに、保護者の子育ての相談にも応じています。サロンには毎回、日本人、外国につながる親子あわせて10組前後の親子が参加していて、子どもを遊ばせる場となるとともに、親たちの交流の場となっています。サロンにはベトナム語、中国語、英語、カンボジア語ができる保育サポーターが入っています。</li> <li>・ 毎年、育児講座を開催しています。2007年度は既に3回行い、うち1回は地域の歯科医により「歯の健康と離乳食について」というテーマで行っています。その際、調理員が参加し離乳食を見せ、作り方について説明しています。</li> </ul> |
| <p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎週木曜日に育児相談を実施していて、その旨のチラシを日本語、中国語、ベトナム語で作り、道路に面した場所に掲示しています。</li> <li>・ 「子育てサロン」のお知らせは、地域の自治会に回覧するほか、泉区の広報にも載せています。</li> <li>・ 関係機関の一覧表はファイルに入れ、事務室に置いていて、連携は園長、主任を通して行っています。</li> </ul>   |






## 評価領域 開かれた運営

| 評価分類   | 評価の理由（コメント）   |
|--|---|
| <p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子育てサロン」をボランティア団体、区役所と協力して開催しています。</li> <li>・いずみ多文化ネットワーク運営委員会・多文化共生まちづくり懇談会・子ども家庭支援地域連絡会等に、園長をはじめ職員も交代で参加しています。</li> <li>・ボランティア団体が主催する日本語教室に、園の部屋を提供しています。</li> <li>・散歩に出かけたとき、子どもたちは地域の人々と気軽にあいさつを交わしています。</li> </ul>  |
| <p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園のしおりは、日本語版・ベトナム語版・中国語版・英語版の4つを用意しています。</li> <li>・園のパンフレットを、泉区の育児支援スペース「ちょこっといずみ」に置いたり、区の育児支援事業のイベント「いずみっこひろば」の際に情報提供をしたりしています。また、横浜市のホームページで施設の情報を提供しています。</li> <li>・利用希望者に対し、入園のしおりに基づいて、園の保育目標・サービス内容等を説明しています。</li> <li>・見学の日時は、できるだけ希望者の希望に合わせていますが、通訳のいる日に見学するように誘うこともあります。</li> </ul> |
| <p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア受け入れのためのマニュアルを作成しています。</li> <li>・体験学習として、中学生、高校生を受け入れています。</li> <li>・2ヶ月に1回、お話ボランティアが来園しています。</li> <li>・保育サポーター連絡会を隔月に行い、意見や感想等を聞いて、園運営の参考にしています。</li> <li>・実習生受け入れのためのマニュアルを作成しています。</li> <li>・実習にあたっては、先方の要望を聞いて、それに沿ったプログラムとなるように配慮しています。</li> </ul>                                 |

## 評価領域 人材育成・援助技術の向上

| 評価分類  | 評価の理由（コメント）  |
|---|--|
| <p>- 1 職員の人材育成</p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 横浜市の「保育士人材育成ビジョン」を基に、人材育成計画を策定しています。</li> <li>・ 年度初めに園長と個々の職員が面談をし、年間目標を設定し、年度末の面談では達成状況の確認や反省を行い、次年度につながるようにしています。</li> <li>・ 内部研修や横浜市や泉区が行う研修等に、職員・非常勤職員とも必要な職員が参加しています。</li> <li>・ 研修を受けた者は、職員会議やミーティングで研修報告を行うとともに、研修で得た資料を回覧し、研修で得た情報を共有できるようにしています。</li> <li>・ 非常勤職員も必要と思われる内部研修に参加できるようにしています。例えば、同じ講師による話を、時間帯をずらして2回行うなどにより、全員が参加できるように配慮しています。</li> </ul> |
| <p>- 2 職員の技術の向上</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カリキュラム会議で、「保育のエピソード」として、各担当が交代で自分のクラスの実践報告をし、他の保育士からの意見や気づいた点を聞き、日々の保育に活かしています。これを発展させ、クラスでの保育の実践現場に、他のクラスの保育士等が参加し、良い点・工夫を要する点等を見つけて書面で提出し、お互いの気づきの材料とする研修を2007年度から始めています。</li> <li>・ 福祉員に、「自分の子どもを預けたい保育園」という課題について書いてもらい、それに基づき園長と福祉員全員が集まり、特に保護者との対応で気をつけるべきこと等を話し合っています。今後、同様の取り組みを保育士にも行う予定です。</li> </ul>   |
| <p>- 3 職員のモチベーション維持</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 横浜市の「保育士人材育成ビジョン」中の「経験年数による期待される役割」をプリントし、各職員に配布しています。</li> <li>・ 改善提案や意見は、いつでも園長・主任に言える雰囲気があります。</li> <li>・ 年度初めと年度末に、園長は個々の職員とヒアリングを行い、満足度や要望を把握しています。</li> </ul>   |

## 評価領域 経営管理

| 評価分類  | 評価の理由（コメント）   |
|---|---|
| <p>- 1 経営における社会的責任</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「全国保育士会倫理要綱」を保育士は周知しています。</li> <li>・新聞ニュース等から得た、他施設で起こった事例等を会議で紹介し、コンプライアンスについて話し合いを行っています。</li> <li>・ISO14001の認証を取得していて、横浜市の方針に準じて環境配慮に取り組んでいます。</li> <li>・保育室にも分別用のゴミ箱を設置し、子どもたちもゴミ減量化に取り組んでいます。クイズ形式で、ゴミの種別を子どもたちに当てさせる等、環境教育にも配慮しています。</li> <li>・電灯をこまめに消したり、エアコンの温度設定を適切にしたり、省エネルギーに取り組んでいます。</li> <li>・野菜くず等の生ゴミは、当番の子どもがコンポスト装置に入れています。出来上がったコンポストは、園の畑等で活用しています。</li> </ul> |
| <p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育理念・保育方針等を園内に掲示するとともに、職員にはプリントを配布しています。</li> <li>・年度初めと年度末の園長と個々の職員面談で目標設定をする際に、保育理念・保育方針に沿ったものであることを確認しています。</li> <li>・幼児の主食提供についての保護者アンケートを行い、その結果等をきちんと保護者に伝えています。</li> <li>・主任はクラス担任も兼ねているので、現場で職員の業務状況を確認しています。</li> <li>・主任は、個々の職員の経験年数等に応じ、的確な助言や指導を行っています。</li> </ul>  |
| <p>- 3 効率的な運営</p>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営に影響する情報は、市・区や園長会等から得るほか、園長は個人的に勉強会に参加し、情報を得ています。</li> <li>・現在の重要課題は、職員会議等で議論して、子どもたちに適切な生活習慣をつけさせることと設定し、園全体の取り組みとしています。</li> </ul>   |

## 利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2007年11月5日～11月14日
- 2、実施方法 外国につながる保護者が多いため、評価機関において、必要に応じてアンケート調査票の翻訳を行い、計8言語のアンケート用紙を作成した。  
保育園から全園児の保護者に、それぞれに適した言語のアンケート用紙を直接配付（手渡し）し、回答を依頼した。  
各保護者より、専用の封筒を使って一度園に提出してもらい、それを評価機関が回収した。  
各言語で回答された意見・コメントは、評価機関において日本語に翻訳した。
- 3、回収率 74.6%（63枚配付、47枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス...5人、1歳児クラス...2人、2歳児クラス...6人、3歳児クラス...5人、4歳児クラス...11人、5歳児クラス...14人、無回答...4人  
ただし同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

### 設問ごとの特徴

#### 【問1】基本理念や基本方針

保育目標・方針を「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者は約50%で、無回答が約10%あります。「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者の約90%が、「賛同できる」「まあ賛同できる」と答えています。

#### 【問2】～【問7】

翻訳版に基づき答えてもらっていますが、もともとの設問の意味や趣旨が理解しにくかったためか、どの設問にも、無回答が4～10%はあります。これを除くと、ほとんどの設問で95%以上の保護者が、「満足」「どちらかといえば満足」と答えています。施設設備についてだけが「どちらかといえば不満」の答えがやや多かったのは、園舎が古いことに起因すると思われます。

#### 【問8】総合的評価

無回答（8.5%）を除けば、全保護者が「満足」「どちらかといえば満足」と答えています。

### まとめ

- ◇ 園や職員に対する感謝の言葉が多く述べられています。「園と保護者との連携・交流」「職員の対応」の項目が、他の項目に比較しても相対的に高い評価となっていて、保護者が満足していることがうかがえます。

## 利用者（園児）家族アンケート集計結果

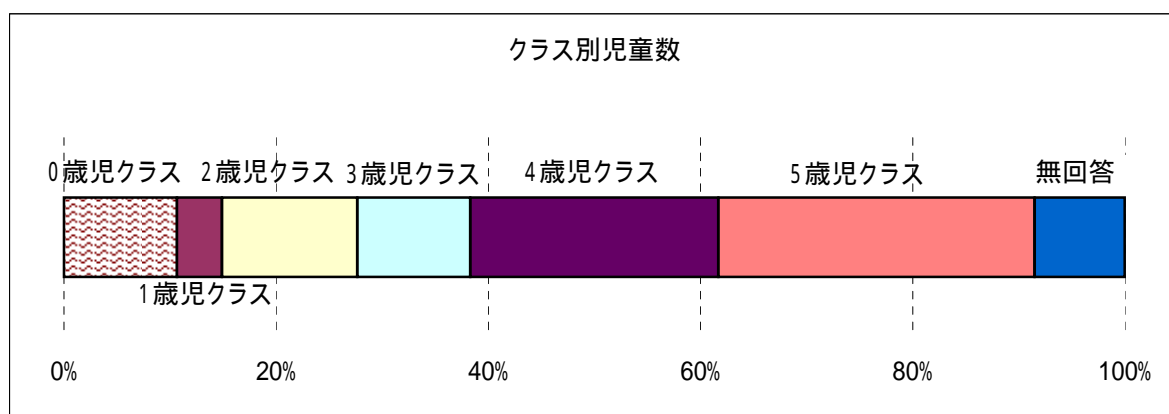
実施期間： 2007年 11月5日～11月14日

回収率： 74.6% （回収47枚 / 配布63枚）

### 【属性】

| クラス別児童数 |        |        |        |        |        |        | (人) |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| 合計      | 0歳児クラス | 1歳児クラス | 2歳児クラス | 3歳児クラス | 4歳児クラス | 5歳児クラス | 無回答 |
| 47      | 5      | 2      | 6      | 5      | 11     | 14     | 4   |

同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスで記入



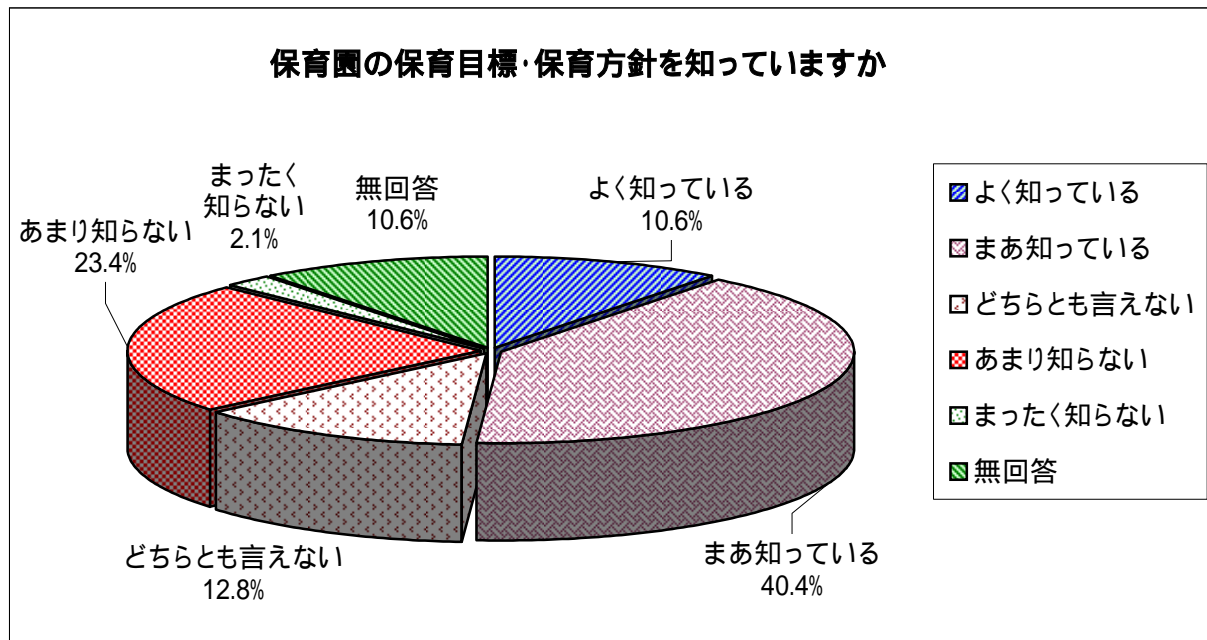
# 保育園の基本理念や基本方針について

## 問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

| 問1:                       | よく知っている | まあ知っている | どちらとも言えない | あまり知らない | まったく知らない | 無回答  | 計   |
|---------------------------|---------|---------|-----------|---------|----------|------|-----|
| あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか | 10.6    | 40.4    | 12.8      | 23.4    | 2.1      | 10.6 | 100 |

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

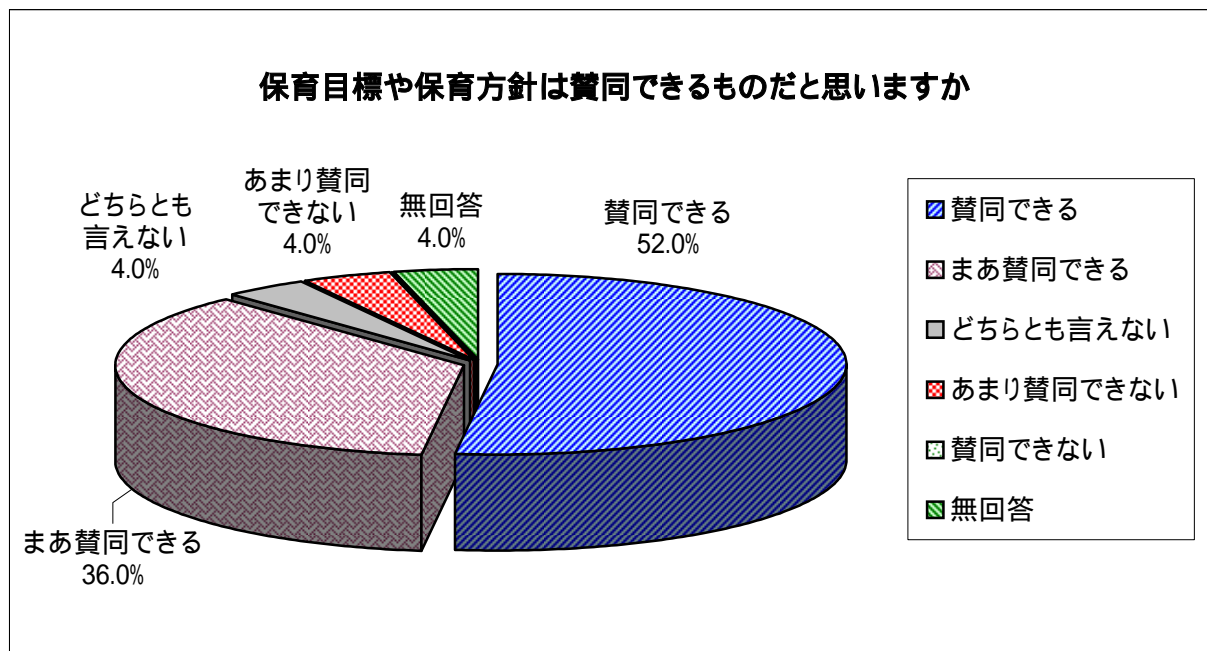


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

## 付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

| 付問1:                            | 賛同できる | まあ賛同できる | どちらとも言えない | あまり賛同できない | 賛同できない | 無回答 | 計   |
|---------------------------------|-------|---------|-----------|-----------|--------|-----|-----|
| あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか | 52.0  | 36.0    | 4.0       | 4.0       | 0.0    | 4.0 | 100 |



# 保育園のサービス内容について

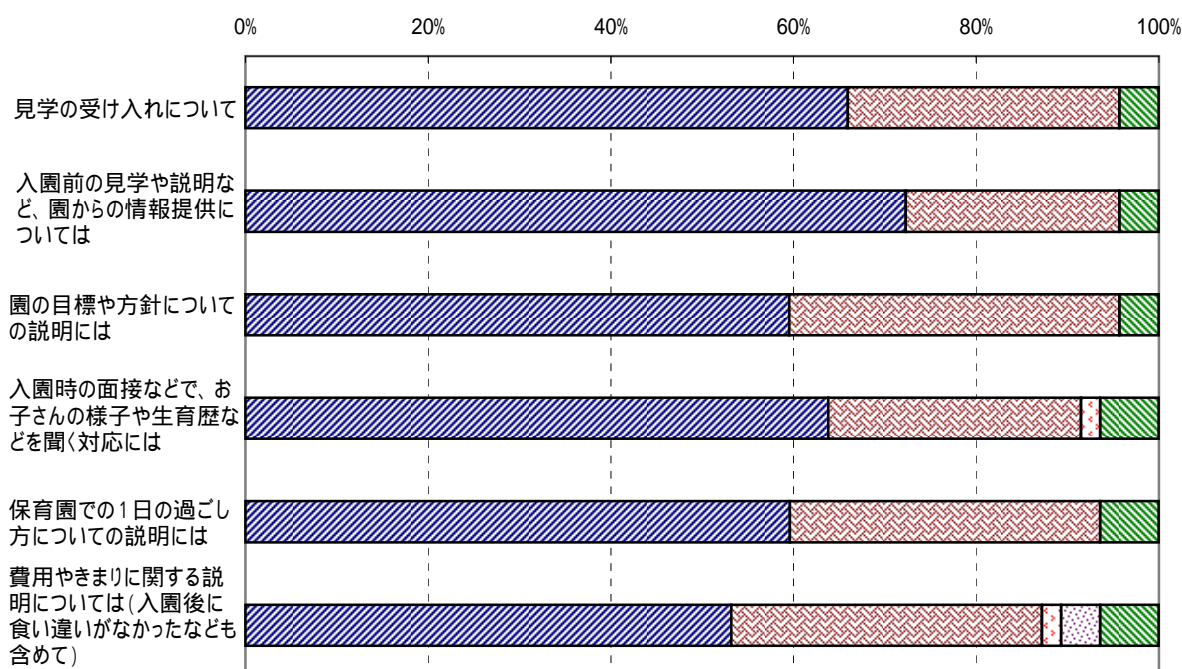
## 問2 入園時の状況について

(%)

|  | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他 | 無回答 | 計   |
|--|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 見学の受け入れについて                            | 66.0 | 29.8       | 0.0        | 0.0 | 0.0 | 4.3 | 100 |
| 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については              | 72.3 | 23.4       | 0.0        | 0.0 | 0.0 | 4.3 | 100 |
| 園の目標や方針についての説明には                       | 59.6 | 36.2       | 0.0        | 0.0 | 0.0 | 4.3 | 100 |
| 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には         | 63.8 | 27.7       | 2.1        | 0.0 | 0.0 | 6.4 | 100 |
| 保育園での1日の過ごし方についての説明には                  | 59.6 | 34.0       | 0.0        | 0.0 | 0.0 | 6.4 | 100 |
| 費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったなども含めて) | 53.2 | 34.0       | 2.1        | 0.0 | 4.3 | 6.4 | 100 |

### 入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



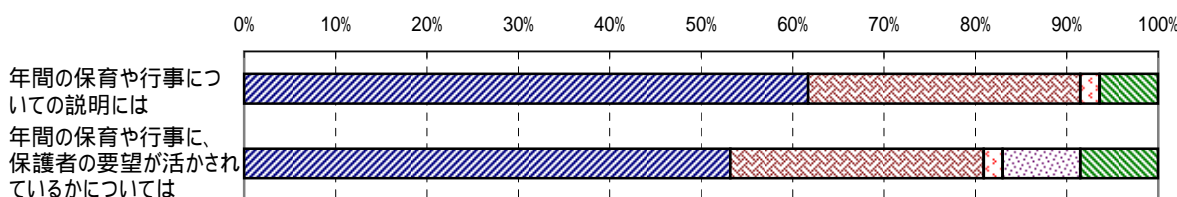
## 問3 年間の計画について

(%)

|                                | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他 | 無回答 | 計   |
|--------------------------------|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 年間の保育や行事についての説明には              | 61.7 | 29.8       | 2.1        | 0.0 | 0.0 | 6.4 | 100 |
| 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては | 53.2 | 27.7       | 2.1        | 0.0 | 8.5 | 8.5 | 100 |

### 年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

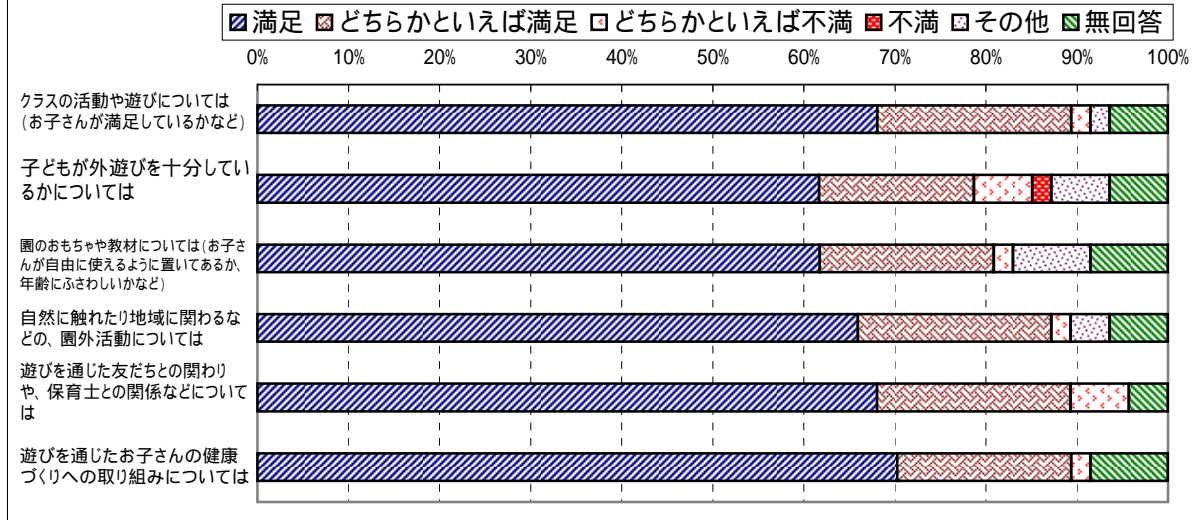


### 問4 日常の保育内容について

(%)

| 「遊び」について   | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他 | 無回答 | 計   |
|--|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)                   | 68.1 | 21.3       | 2.1        | 0.0 | 2.1 | 6.4 | 100 |
| 子どもが外遊びを十分しているかについては                             | 61.7 | 17.0       | 6.4        | 2.1 | 6.4 | 6.4 | 100 |
| 園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど) | 61.7 | 19.1       | 2.1        | 0.0 | 8.5 | 8.5 | 100 |
| 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については                       | 66.0 | 21.3       | 2.1        | 0.0 | 4.3 | 6.4 | 100 |
| 遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては                   | 68.1 | 21.3       | 6.4        | 0.0 | 0.0 | 4.3 | 100 |
| 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては                      | 70.2 | 19.1       | 2.1        | 0.0 | 0.0 | 8.5 | 100 |

#### 日常の保育内容「遊び」について



(%)

| 「生活」について   | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他 | 無回答  | 計   |
|--|------|------------|------------|-----|-----|------|-----|
| 給食の献立内容については                                     | 70.2 | 21.3       | 2.1        | 0.0 | 0.0 | 6.4  | 100 |
| お子さんが給食を楽しんでいるかについては                             | 66.0 | 25.5       | 2.1        | 0.0 | 0.0 | 6.4  | 100 |
| 基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては           | 78.7 | 12.8       | 2.1        | 0.0 | 0.0 | 6.4  | 100 |
| 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては                 | 70.2 | 23.4       | 0.0        | 0.0 | 0.0 | 6.4  | 100 |
| 家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについては | 63.8 | 17.0       | 2.1        | 0.0 | 2.1 | 14.9 | 100 |
| お子さんの体調への気配りについては                                | 70.2 | 19.1       | 4.3        | 0.0 | 0.0 | 6.4  | 100 |
| 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には                    | 74.5 | 10.6       | 6.4        | 0.0 | 0.0 | 8.5  | 100 |

#### 日常の保育内容「生活」について





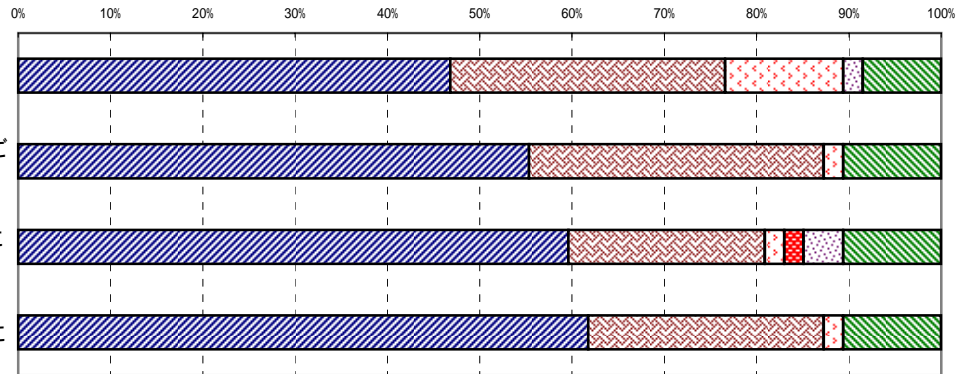
### 問5 快適さや安全対策などについて

(%)

|                           | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他 | 無回答  | 計   |
|---------------------------|------|------------|------------|-----|-----|------|-----|
| 施設設備については                 | 46.8 | 29.8       | 12.8       | 0.0 | 2.1 | 8.5  | 100 |
| お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については    | 55.3 | 31.9       | 2.1        | 0.0 | 0.0 | 10.6 | 100 |
| 外部からの不審者侵入に対する備えについては     | 59.6 | 21.3       | 2.1        | 2.1 | 4.3 | 10.6 | 100 |
| 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については | 61.7 | 25.5       | 2.1        | 0.0 | 0.0 | 10.6 | 100 |

#### 快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答



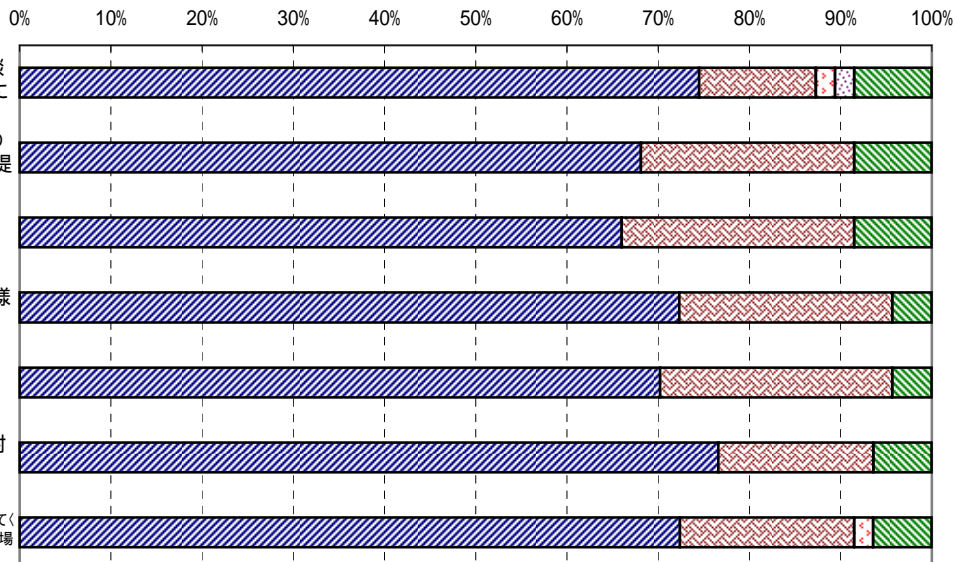
### 問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

|   | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他 | 無回答 | 計   |
|---|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については              | 74.5 | 12.8       | 2.1        | 0.0 | 2.1 | 8.5 | 100 |
| 園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については           | 68.1 | 23.4       | 0.0        | 0.0 | 0.0 | 8.5 | 100 |
| 園の行事の開催日や時間帯への配慮については                     | 66.0 | 25.5       | 0.0        | 0.0 | 0.0 | 8.5 | 100 |
| 送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については                 | 72.3 | 23.4       | 0.0        | 0.0 | 0.0 | 4.3 | 100 |
| お子さんに関する重要な情報の連絡体制については                   | 70.2 | 25.5       | 0.0        | 0.0 | 0.0 | 4.3 | 100 |
| 保護者からの相談事への対応には                           | 76.6 | 17.0       | 0.0        | 0.0 | 0.0 | 6.4 | 100 |
| 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には | 72.3 | 19.1       | 2.1        | 0.0 | 0.0 | 6.4 | 100 |

#### 園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答



### 問7 職員の対応について

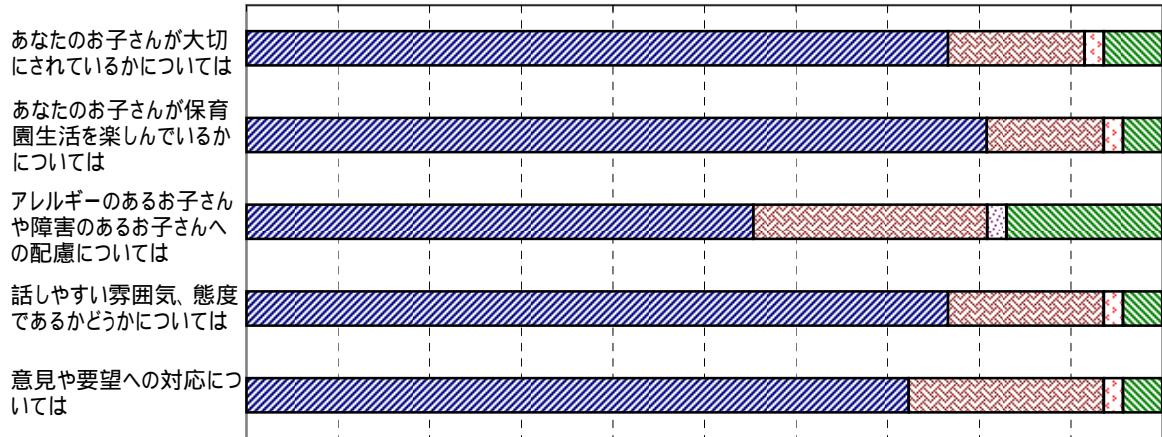
(%)

|                                 | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他 | 無回答  | 計   |
|---------------------------------|------|------------|------------|-----|-----|------|-----|
| あなたのお子さんが大切にされているかについては         | 76.6 | 14.9       | 2.1        | 0.0 | 0.0 | 6.4  | 100 |
| あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては    | 80.9 | 12.8       | 2.1        | 0.0 | 0.0 | 4.3  | 100 |
| アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については | 55.3 | 25.5       | 0.0        | 0.0 | 2.1 | 17.0 | 100 |
| 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては         | 76.6 | 17.0       | 2.1        | 0.0 | 0.0 | 4.3  | 100 |
| 意見や要望への対応については                  | 72.3 | 21.3       | 2.1        | 0.0 | 0.0 | 4.3  | 100 |

#### 職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

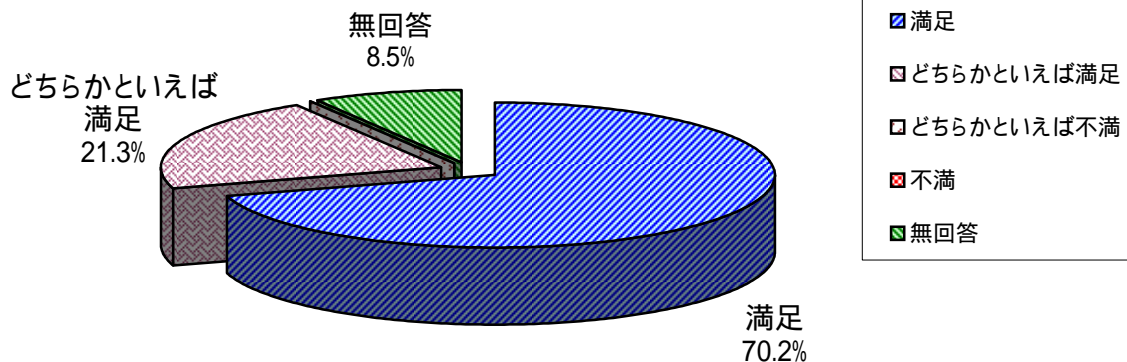


### 問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

|        | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | 無回答 | 計   |
|--------|------|------------|------------|-----|-----|-----|
| 総合満足度は | 70.2 | 21.3       | 0.0        | 0.0 | 8.5 | 100 |

#### 総合満足度



## 利用者（園児）本人調査 分析

観察調査 12月18日（火）9：10～12：30 12月20日（木）9：20～12：30

観察中、5歳以上の園児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

### 0歳児クラス

天気が良いので、園庭で砂遊びやボールで自由に遊びました。子どもが砂をすくってカップに入れると、保育士がカップの砂を逆さにして、饅頭のようにしました。保育士はうまくできたらほめ、遊びに入らない子どもには声かけをします。しばらくすると、子どもが落ち着いて遊べるように保育士がテーブルと椅子を出し、みんなで一緒に砂遊びの続きをしました。

「お片づけしましょう」と保育士が声をかけると、子どもたちはシャベルなどを自分で物置にしまいに行きます。足を洗ってもらって保育室に入り、オムツ替えのあと、食事までの間、絵本を読んでもらいました。

食事のとき、子どもたちはみんなスプーンを使って自分で食べます。スープを飲むときは保育士が手助けをします。おかずやパンをおかわりする子どももいます。5歳児が収穫したニンジンが出されると、子どもたちは喜んですぐに食べました。

午睡のとき、保育士は抱っこをしたり、トントンをして子どもたちを寝かせたりしていました。

### 1歳児クラス

みんなでベランダを「でんしゃででんでん」の歌にあわせて一周した後、そのまま列を作って園庭に下りました。手すりにつかまって、みんな自分で階段を下りることができます。最初に、2歳児と一緒に「オオカミ鬼」をしました。音楽にあわせて楽しそうに歩き、音楽が止まるとオオカミのお面をかぶった鬼役の保育士に捕まらないよう、子どもたちはとても活発に逃げ回りました。

輪になって歌った後は自由遊びです。土にお絵かき、砂遊び、ままごと、ジャングルジム、輪を使っての電車ごっこ、とみんなそれぞれ好きなことをして遊びます。保育士は危険がないように気を配り、遊びを見守ります。仲間に入れなかったり、遊びが途切れそうになると、声かけをしたり、おもちゃを足したり、遊び方を示したりして、遊びが広がるよう手助けをしていました。もめ事があると、「ください」「かして」「ありがとう」と言葉で話すように保育士が仲立ちをしています。

ごみ収集車が近くのごみ収集所に来ると、子どもたちは一斉に道に面したフェンスに走り、へばりついて作業を見守ります。ごみ収集車が隣の収集場所へ移るときは、全員と一緒に園庭を移動し、収集車の作業員さんたちとあいさつを交わしていました。

保育士はトイレ、着替え、食事などの全ての場面で歌を歌い、子どもの気持ちの切り替えを図っていました。

### 2歳児クラス

朝、先生の話聞いた後、クレヨンでお絵かきをしました。みんな、自由にぐしゃぐしゃとクレヨンを走らせていました。

お絵かきの後、園庭に下りました。5歳児の後をついて畑に行き、一緒にニンジンを抜きました。最初に5歳児が抜くのを見学した後、2歳児も先生に手伝ってもらい「うんとこしょ、どっこいしょ」と抜きました。抜いたニンジンを見せ合ったり、においをかいだり、子どもたちはとてもうれしそうでした。

ニンジンを抜いた後、しばらく園庭で鉄棒や砂遊びをして遊びました。まだ言葉はあまり出ませんが、たまに「一緒にやろう」と会話をするなど、友達との関わりがあります。上空をヘリコプターが通ると、子どもたちは一斉に追いかけて「バーンバーン」「バイバイ」と声を上げ、手を振ります。園舎に戻るとき、5歳

児の当番が帽子を脱ぐ手伝いをしてくれました。

食事のとき、何人かは箸を使って食べていました。保育士は「おかずとスープとパンを順番に食べようね」「よくかんで食べようね」と声かけをし、うまく食べられない子どもには保育士が手助けしていました。

### 3歳児クラス

朝の保育士も交わってのレストランごっこでは、お客役の保育士を相手に「オーダーお願いします」「先生できたよ、デザート」などとやり取りをしていました。おもちゃの片付けもごっこ遊びの続きで「お皿洗い」「お片づけ」と行い、最後に「お会計をお願いします」「円です」と締めていました。

自由遊びの後、みんなで手をつないでトイレに行きました。トイレの後、大体の子どもは自分から手を洗いますが、洗っていない子どもには、保育士が声かけをして促していました。朝のあいさつでは「先生おはようございます。皆さんおはようございます。」を、みんなでいろいろな言語で言いました。

調査日の2日目は、3、4、5歳児はリズム遊びの日でした。年齢別にいくつかのリズムをこなしました。難しい2人組の「そり」のとき、3歳児は5歳児に引っ張ってもらいます。最後に「きらきら星」を日本語・中国語・英語・ベトナム語の4つの言語で順番に、みんな大きな声で歌いました。

リズム遊びの後、しばらく園庭で、ジャングルジムで遊んだり、スキップの練習をしたり、ままごとを4歳児と一緒にしたり、自由に遊びました。片付けのとき、スコップを片付けない子どもには保育士が一对一で話をし、スコップを倉庫まで一緒に片付けに行きました。

食事は、この日は休みの子が多かったので、1つのテーブルをみんなで囲み食べました。食が進まないときは、保育士が声かけをし、食べさせていました。食事を終え、パジャマに着替えた後、保育士と対面で歯を磨きます。仕上げは保育士が磨いていました。

### 4歳児クラス

幼児クラス合同で行うリズム遊びのために、それぞれ一人で着替えをした後、朝礼です。子どもたちは「小さな世界」「きらきら星」「赤鼻のトナカイ」を元気良く歌いました。「きらきら星」は4つの言語で歌いました。

リズム遊びの前に、みんなで並んで一斉に雑巾がけをしました。リズム遊びは、5歳児、4歳児、3歳児と順番に「ヨチヨチあひるさん」「走れよ子馬」「ジングルベル」などをしました。みんな好きなようで、自分たちの順番が来るのを楽しそうに待ち、取り組んでいました。

クラスに戻りみんなで「赤鼻のトナカイ」を歌い始めたとき、2人の子どもが、自分がボール紙で作ったトナカイのかぶり物を棚の上からとって、頭にかぶりました。保育士が「みんなもかぶる？」と聞くと、みんな一斉に棚にとりに行き、結局全員がかぶって歌うことになりました。

歌の後、園庭に出て、各自好きなことをして遊びました。保育士が園庭の真ん中に白線で円を描くと、半数くらいの子もたちが集まってドッジボールを始めました。まだルールがよく分かっていないようで、保育士がどのようにして遊ぶか、ルールを説明していました。

昼食のとき当番は、食事を台車で運ぶ手伝いをしたり、みんなの前であいさつをしたりします。食事を取りに行ったとき、厨房で「いただきます」と調理員に声をかけていました。食事の前に保育士が、献立について食育ボードを使い説明をしました。食事中、保育士は子どもたちが自分から食べるのを見守り、必要などときには手伝ったり、声かけしたりしていました。

食べ終わると、各自食器を台車にさげ、歯磨きをします。砂時計を使って歯磨きの時間を計っている子どももいます。早く着替え終わった子どもの中には、布団を敷く手伝いをする子どももいました。

### 5歳児クラス

朝の時間、子どもたちはババ抜き、ままごと、絵本、折り紙、こま、と自由に遊んでいました。その間に当番は各クラスを回って、出席の人数を聞き、事務室に報告に行きます。

朝礼の後、いちょう小学校の1年1組に、前日にみんなで作った「新年お楽しみ会」の大きな招待状を届けに行きました。みんなきちんと列を作り、道を渡るときは手を挙げます。近所の人に会うと、大きな声であいさつを交わしていました。保育士が木の実やカラスを見つけて示すと、子どもたちは一斉にそれを見て、「わー」と声を上げます。小学校では緊張したものの、みんなで上手にあいさつすることができました。

園に帰ってから、裏の畑に回り、2歳児と一緒にニンジン을抜きました。丁寧にニンジンの周りの土を除き、真剣な表情で抜いています。採ったニンジンは洗って葉を取った後、調理してもらうために、絵に描く3本を残して調理員に渡しました。調理員も子どもたちと一緒に作業しました。

けんかの場面では、保育士が当事者である2人だけを残し、双方の言い分をゆっくり聞いた後、最初に押した子に謝るよう促し、子ども同士で話し合えるように仲立ちをしていました。

3つのグループに分かれて、絵の具を使ってニンジンの絵を描きました。ニンジンの先が細くなっているのを強調したり、ひげ根をたくさん描いたり、しわや残っている土にこだわったり、葉をやたら大きく描いたり、それぞれのニンジンの絵が出来上がりました。みんな大きくのびのびと描いていて、画用紙に入りきらず机にはみ出す子どももいました。

調査日2日目の給食はバイキングでした。エプロンをつけた当番から順に自分たちが好きなおかず、量をとりました。自分たちで収穫したばかりのニンジンは大変な人気でした。みんな、食べるよりおしゃべりに夢中です。家から持ってきた主食の量が多く、食べきれない子どもには、保育士ができるだけ食べるよう励まし、どうしても食べきれないときは「おかずだけは食べようね」「ご飯が多かったと帰りにお母さんに話してあげる」と声をかけていました。

食器を片付けた子どもたちは、押入れから着替えのかごを出したり、布団を敷くのを手伝ったりしていました。脱いだ洋服はごく自然にたたみ、片付けます。歯磨きは小さい鏡を見て、ゆっくり磨いている子どももいました。お当番はこの間に、調理室の野菜くずをコンポストに捨てに行きました。

## まとめ

子どもたちは、身体を使って思いっきり園庭で遊びこんでいます。ドッジボール・サッカー・鬼ごっこをしたり、ジャングルジムや滑り台で遊んだり、おままごと、砂遊びなどをしてたりとそれぞれの年齢に合わせて自分が好きなことをじっくりと楽しんでいます。保育士は危険がないよう見守りながら、声かけをしたり、おもちゃを足したりして、遊びを広げる手助けをしています。子どもたちに好きな遊びを聞くと「サッカー」「ドッジボール」「鬼ごっこ」「かくれんぼ」と身体を動かす遊びが次から次へと挙がりました。

絵を描いたり、歌を歌ったりという表現活動も多く行っています。外国につながる子どもが多いため、日本語、中国語、英語、ベトナム語の4つの言語で歌を歌ったり、いろいろな言葉であいさつをしたりといったお互いの違いを認める機会を作っています。

けんかやもめ事の時には、保育士はゆっくりと双方の話を聞いて、お互いが話し合っ解決ができるように仲立ちをしています。

保育士は子どもたちが日本で生活をしていく上で困らないように、食事など基本的な生活習慣についてきめ細かく見守り、声をかけています。このような保育士の働きかけや当番、手伝いを通して、子どもたちは、噛んで食べたり、食器をさげたり、脱いだ服をたたんだり、布団を敷いたり、トイレのサンダルをそろえたりと、日常的に多くのことを学んでいました。

### 第三者評価を受けて

北上飯田保育園の特徴は、何と言っても園児の85%が外国につながる子どもであるということです。言語の壁や生活習慣の違いなどにより課題も多く、安全に一日を過ごすことで精一杯の日々でした。「あー今日も怪我がなく一日無事に終わったー」という毎日。しかし、「本当に安全保育だけで良いのだろうか？」「私たちが努力をしていることは正しいのだろうか？」という疑問も常に心の中にありました。それを振り返るために、大変そうだけど、第三者評価を受けてみよう！ということになりました。

まずは、各自が自己評価をし、それをまとめ、一項目ずつ皆で話し合いをしていきました。この項目は、北上飯田保育園ではどうやって考えていったらよいのだろうか、この項目は何を求めているのだろうかなど、一つ一つの項目について確認しながら進めていきました。真剣に討論をしていると、なかなか先に進まず、気が遠くなりそうなこともありましたが、初心に戻り話し合いを続けました。

話し合いをする中で、一番得たことは、お互いの保育に対して、思っていることを声に出していえるようになったことです。今までは、園としての保育目標を持ちながらも、他クラスの保育を尊重するような、口を出せないような雰囲気がありました。しかし、今回の第三者評価の評価項目の話し合いの中では、園全体が問われることとなり「私はこの項目に対しては、十分とはいえないと思う。なぜならば、

な時にこういうことがあると思う」「そうかな？私はこういうつもりだけど...」と率直に意見を言い合えるようになりました。「自分が今までやってきたことは何だったんだろう」と自信を失いそうになったこともありましたが、職員全員が、一つの方向に向き向上しようとしていることを共に実感できたことは、本当に貴重な体験でした。

また、第三者評価の中で重要なポイントである本人や保護者の意思の尊重という点においては、日本で安定、安心して暮らしていけるよう援助する私たち北上飯田保育園の保育が、一方的な驕った保育になっていないかという気づきを与えてくれたことも大きな成果でした。

第三者評価を受けたことは終着ではなくスタートです。今日から、新しい北上飯田保育園の始まりです。ここから気持ちを新たに「子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う」という保育方針にむかい、職員一同努力をしていきます。

泉区北上飯田保育園 職員一同

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.rakuraku.or.jp/hyouka/>

---

特定非営利活動法人



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま 評価事業部

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目26番地 洋服会館2階

TEL:045-222-6501

FAX:045-222-6502

<http://www.shimin-sector.jp>

---